

■第9回「しまねナイスパートナー」選定者一覧

※記載は受付順

	氏名	住居地	推薦理由(地域活動・地域への貢献)	推薦理由(その他)	推薦者
1	たさか 田坂 ヒデノ	出雲市 斐川町	平成5年から平成19年までの14年間、主任児童委員、平成8年から平成22年までの15年間、更生保護女性会出西支部長、平成8年から現在まで人権擁護委員を務めている。 平成10年から出西コミュニティセンターのミニデイサービスボランティアのリーダーとして活動し、平成16年から斐川図書館の思い出語りを行うなど多方面で福祉活動に尽力。幼稚園や高齢者福祉施設、ミニデイサービスなどでマジックを披露し楽しみも提供している。 出西地区健康づくりの会副会長も務め、地域の健康づくりに貢献している。	将さんは写真やそば打ち、ヒデノさんは習字、マジック、茶道等、お互いの趣味を理解し合い、写真(島根県展優秀賞)や習字(斐川町文化協会奨励賞)の作品を毎年出西コミュニティセンターの文化祭に出品し、地域の芸術文化の発展に貢献している。	出西コミュニティ センター長
	たさか すすむ 田坂 将		平成9年から平成25年までの16年間、保護司として犯罪予防活動、非行者の更生保護活動に尽力された(島根県知事感謝状受賞)。その間、出雲地区保護司会副会長、斐川支部長を歴任。 平成23年から出雲市斐川町出西地区初代自治協会長として地域をまとめている。 主な取り組みとして、 ①地区の一大イベントである敬老会を地区社会福祉協議会と共催 ②地域の福祉活動に役立てるための住民からの寄付(香典返し)の受け皿の整備 ③新興住宅地の自治会加入の推進 ④地区防災活動の推進 など、特徴ある組織作りを進めている。 平成25年からは出西コミュニティセンター運営委員会副会長も務め、センター運営の中核を担っている。	夫婦で切磋琢磨しあいながら、地域の更生保護活動、福祉活動に尽力し、地域住民からの信頼は極めて厚い。 ソフトな人当りで多くの人たちを束ねる魅力的な人柄で、夫婦がお互いに刺激し合い地域づくりに貢献している。	
2	なかもと ふみえ 中本 富美江	隠岐の島町 小路	平成23年に「蓮の花を咲かせる会」を立ち上げ、富美江さんが代表を務める。古代蓮(大賀蓮)をはじめとする様々な種類の蓮が隠岐でも見られるように、遊休田を活用した蓮の栽培に夫婦で力を注いでいる。 この取り組みは平成25年度隠岐の島町の「まちづくり事業」に採択され、蓮の新たな植栽と蓮田の整備を進めている。	夫妻が栽培、保護した希少植物は、多くの方に見ていただけるよう「なごらんの里えびね園」(隠岐の島町)で無料公開され、訪れる人々を楽しませている。	隠岐の島町長
	なかもと のりあき 中本 憲昭		隠岐の貴重な植物が次々と絶滅していく状況を打開するため、平成元年から隠岐野生ラン増殖センター代表として絶滅寸前だったナゴランの種子保存、栽培を始める。旧五箇村や地元有志の協力を得て「希少林産物生産振興会」を組織。栽培技術を研究しナゴランの人工増殖に成功。 その他にもエビネやシシランなど様々な希少植物の栽培、保護に夫婦で取り組み、地域資源を活用した地域の活性化に貢献している。	「蓮の花を咲かせる会」が整備した蓮田は、初夏になると多くの蛍が舞い踊る神秘的な雰囲気をもとい、日中とは違う趣を感じさせる名所となっている。 このように地域資源の「花」を基調とした取り組みは、地域活性化に大きく貢献している。	